

[illegible]



城入行一衛公藤伊
(左)藤田公一(右)伊藤公一(中央)藤田公一(右)伊藤公一

朝鮮の色彩を明かに

朝鮮の色彩を明かに
朝鮮の色彩を明かに
朝鮮の色彩を明かに

慰問使

慰問使
慰問使
慰問使

皇太子殿下

皇太子殿下
皇太子殿下
皇太子殿下

聖上の恩召に

聖上の恩召に
聖上の恩召に
聖上の恩召に



北米と南米
南阿と南洋
世界の名物、野菜、果物の競馬
秋山眞男氏

慰問使

慰問使
慰問使
慰問使

増進する

増進する
増進する
増進する

激煌の古寫經

激煌の古寫經
激煌の古寫經
激煌の古寫經

激煌の古寫經
激煌の古寫經
激煌の古寫經

村民七十

村民七十
村民七十
村民七十

白米四十二銭

白米四十二銭
白米四十二銭
白米四十二銭

お雛さま

お雛さま
お雛さま
お雛さま

京日讀者優待券
二月四日限り
社報日城京

大利益ある

大利益ある
大利益ある
大利益ある

反千圓の収益

反千圓の収益
反千圓の収益
反千圓の収益

草栽培

草栽培
草栽培
草栽培

金井眼科

金井眼科
金井眼科
金井眼科

イケダ小児内科

イケダ小児内科
イケダ小児内科
イケダ小児内科

たんぽぽ

たんぽぽ
たんぽぽ
たんぽぽ

オホ

オホ
オホ
オホ

専門の新剤

専門の新剤
専門の新剤
専門の新剤

資本金壹千萬元

資本金壹千萬元
資本金壹千萬元
資本金壹千萬元

銀行一般の業務

銀行一般の業務
銀行一般の業務
銀行一般の業務

銀行一般の業務
銀行一般の業務
銀行一般の業務

憲法に申すは誠にして國な事です
 か私ははつ
 ◇便通 若くありません
 醫者は若くあなたが永留し「官」
 が出来るまで、兼日に倍した難事
 があつた、其方法も極めて容易
 な事で、何うも解ける人が少い
 爲めに云つて究へ下さつた方
 云ふは、船舶造船の後進に二
 三のみに食費「コーヒー」並に二
 三のみに食費「コーヒー」並に二
 三のみに食費「コーヒー」並に二
 三のみに食費「コーヒー」並に二

其良人が其美さ平寧になる事か
 まないぢやあるさ云つて暫た
 國で「婦人家政權」は未だ大分
 して居ない見ゆます

○不孝此 せり 明
 生る、死ぬる、明かりに闇れぬ
 うまれおちたる、小きなむくろ
 にふみし、一月、不孝

空はたゞれぬ、そは深し
 へん、へん、へん、へん、へん、へん

するさ其後と一時間は胸が惡く
呵さ云へぬ不氣な氣分になり、
その間は胸のやうにならなり、
かうして後通の電車に乗りす便
所に暫く居る

◇習慣を續けるさ其後は毎
日よい工作の時間を確保されて備
か時間のお宿の後は今度は何と
も云へぬ、快よく気分になつて夏
なごの食慾が進まぬ時に食事は
大體に甘くならしました、尤も
私は此法を取つてから朝食は薄
して二食したに思いますがいつと

小さなむくろ、さぐろき器、い
ちが膳、銀鍍金なり、尚方本
一筋のまなざし、空はたされぬ
こは深し。

むくろ叫べり
連ねたる響き
闇のプラチナの夜
(八月廿六日)

□旅 松籟生
酒持待つ聞わびし夕空にこむ
し人をさと思ふ哉

櫻夕の庭さは知らず身に染みて
櫻夕の雲たは、わづらひ
二日月の夕潮ひる宿にして静は
たば君おもふかな
越方の五百里の山はうすづきて行
舟の裏へ

京坂本町電話一八七〇番

◎津村兄弟商會

食事の不快と思つた事がありません。而して此處によつてかゝる殆んど諸病をたずむる事もなく毎朝決まつて便道があるので終日身間の不都合を感ぜずして居ります。私も健初は随分苦しみましたが何へも。

○健康

の爲めだと思つて最う三年服を續けて居ります。醫者の語では婦人は東馬屋内に暮らすので運動は不足、且つ御秘が非常に悪いものです。婦人には是非行して取。たと思ひます」

●英國でも

觀の實の著る體に旅人のふり仰すたる歳々月月
紅葉する五百山に廻り行水の秋靜か
へ下る川舟に秋の歌一首
旅の子の仰けは淋し御佛のやさし
一層と秋こもるがに一語等にて一

京
日報柳壇

假
松
葉
菫
花
柳
沙
流
坊
志
津
劍
花
坊

同

[illegible]

奏功の美事なる點に於ては何人にも御満足
を與ふるであらうと思ふのです。

事實が証明 何と云つても事實は其總てを

本舖 大阪北濱 合資會社 參天堂藥房

行掛けましたから少しでも其氣味があつた
時には速かにハカリ印のヘブリン丸をお用
ゐるが第一です。

(定價十錢以上、家庭用、五十錢壹圓)

電話本局二〇四番二二〇五番

はカアン・ヘツブ両先生の發見に係る主藥を採用して發賣した處が忽ち其効驗が評判となつて、社會から信用せられ、感冒藥としては唯一無二の權威を得たのです。

醫學學の進歩 醫學や藥學の進歩は實に速かであるから、此ハカリ印のヘブリン丸も其新しく生れて來る新藥、また斯界泰斗の方請は盡く其長を取り短を捨て、資料に供し從來の經驗に加ふるに新しい智識を活用して、何でも良藥をご研究して居るのですから、名は依然たるハカリ印のヘブリン丸ではあるけれども其實質に至つては其進歩

種類の夥だしい事は實に枚舉に遑あらずと雖も、ハカリ印のヘブリン丸はまづ物に譬ふれば老松の天を摩するが如く一頭地を抜いて、其需要の旺盛なる、產出の巨額なる、頒布區域の廣大なる等の事は、容易に他から眞似の出來ぬ處です。

ハカリ印のヘブリン丸 世界的流行感冒と稱せられ、一時は世上を驚かし恐怖せしめたる流行性感冒の流行した際にこのハカリ印のヘブリン丸が偉大なる効を奏した事は服用せられたる諸士の等しく實驗せられたる處です。

はやりかぜには
しるし
ハカリ印の
ベブリン丸
此薬は創製以來三十
年物語るもので、世上に感
冒者は京薬として下す。

[illegible]

又牛

通張長發雜主安

止上
正人
金企
銀兩

定價
五十五元
金銀價目
五十四元九角
三錢

割送
內三十
錢

市內御通知次第號就

全國二便
京坂太本通

京城日報代理部

東京總店
京都分店
神戶支店


北島支店

大阪商船出帆

三川出帆

二月七日 正午出帆

漢羊堂



漢羊堂
主人張氏

◎婦人病特藥◎

向蒙 主 功 効

肝腎衰弱 經血不調 胎前產後 諸症皆效

力能 補血 壯陽 益氣 健胃 助消化 治諸虛百損

範牛乳

ニウソ

石粉

本正藥師監製

目下四町南邊

場牧

◎婦人病特藥◎

向蒙 主 功 効

肝腎衰弱 經血不調 胎前產後 諸症皆效

力能 補血 壯陽 益氣 健胃 助消化 治諸虛百損

石粉

本正藥師監製

目下四町南邊

場牧

父湛義雖而
氣の處養生不
相叶本月生
午後十時死去
教候右御報申
上候
追納は月五日午
で申付て執行仕候
大正八年四月四日

男本多憲子代
男中山親宗
男本多親宗
男本多重人
男本多雅彦
男大久保彦
男星田正郎